

令和5年度入学試験問題(前期)

小論文

(医学部保健学科)

(90分)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験中に落丁・乱丁や印刷の不鮮明な箇所などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせて下さい。
3. 解答用紙を別に配付しています。解答は、問題と同じ専攻、同じ番号の解答用紙に記入して下さい。指定の解答用紙以外に記入したものは無効です。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の指定された欄に受験番号を記入して下さい。
5. 解答用紙にアルファベット、算用数字を記入する場合には、1マスに2文字ずつ入れて下さい(ただし、字数が奇数の場合は、末尾の1文字は1マスに入れて下さい)。
6. 問題は、専攻によって異なります。
 - ① 看護学専攻
 - ② 理学療法学専攻
 - ③ 作業療法学専攻
7. 配付された問題冊子および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰って下さい。

1

(医学部保健学科看護学専攻)

以下の文章を読み、図1および図2を参考にして、次の(1)(2)について、あわせて800字以内で記述しなさい。

- (1) 「病院」と「自宅」で死ぬ、それぞれのメリット、デメリットを挙げなさい。
- (2) (1)を踏まえて、あなたの考える「患者が最期を迎える理想的な場所」について述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

出典：國頭英夫 著、明智龍男 監修、『死にゆく患者と、どう話すか』医学書
院、2016。より抜粋、一部改変

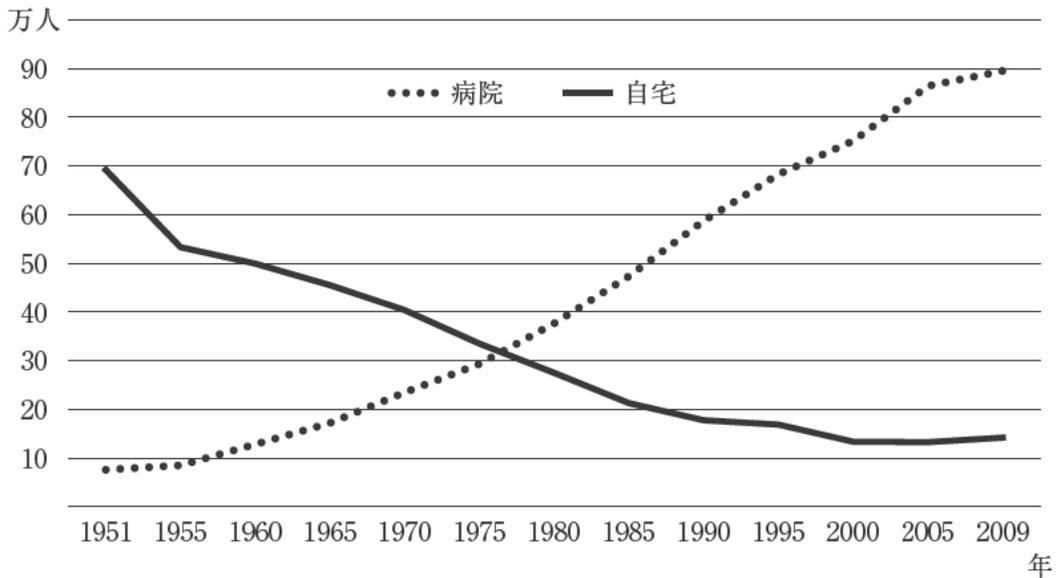


図1 死亡場所の推移

出典：「人口動態統計年報 主要統計表 死亡 第5表 死亡の場所別にみた死亡数・構成割合の年次推移」(厚生労働省) (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii09/deth5.html>) よりデータを得て作成

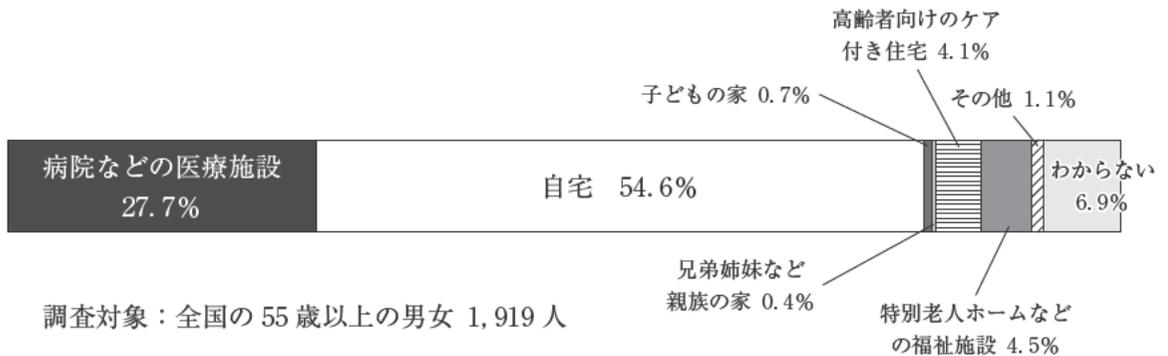


図2 治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいか

出典：「平成24年度 高齢者の健康に関する意識調査」(内閣府) (https://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h24/sougou/gaiyo/pdf/kekka_1.pdf) よりデータを得て作成

2

(医学部保健学科理学療法学専攻)

以下に示す記事は、障害者スポーツの現状と課題について述べているものである。この文章を読み、障害者スポーツ支援の効果とメリットについて、あなたの意見を 800 字以内で述べなさい。

障害者スポーツの現状と課題

著作権の関係上、省略します。

出典：～障害者スポーツの裾野の拡大～鈴木長官 先進事例の現場視察レポート！ スポーツ庁 web 広報マガジン (2018 年 6 月 29 日) (<https://sports.go.jp/special/case/special-project-2020.html>) より抜粋，一部改変

3

(医学部保健学科作業療法学専攻)

以下の図は高齢者の身体活動時間および高齢者の同居する人以外と会話する人数について2020年に新型コロナウイルス感染症拡大前後で調査を行った結果である。

図1および図2からわかることを述べ、これらから想定される問題点を挙げ、それに対する対処法について、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

資料：「Yamada M, Kimura Y, Ishiyama D, Otobe Y, Suzuki M, Koyama S, Kikuchi T, Kusumi H, Arai H. Letter to the Editor: Recovery of Physical Activity among Older Japanese Adults since the First Wave of the COVID-19 Pandemic. J Nutr Health Aging. 2020; 24(9): 1036-1037.」より厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室において作成

図1 高齢者の1週間あたり身体活動時間(分)の変化

出典：「令和3年版厚生労働白書」(厚生労働省)(<https://www.mhlw.go.jp/content/001011736.pdf>)よりデータを得て作成

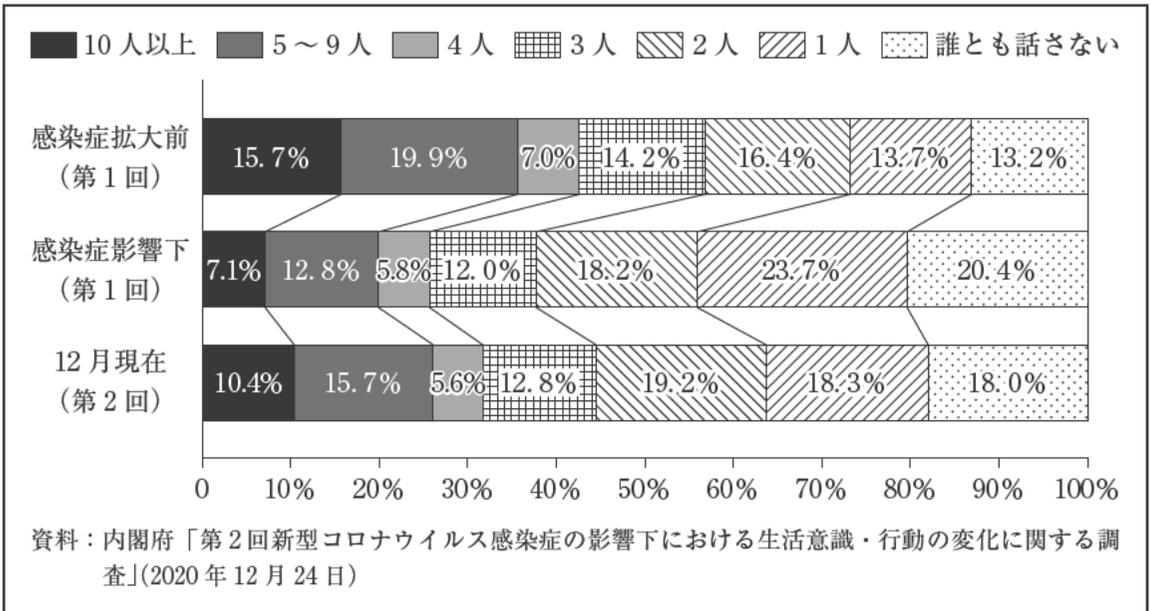


図2 高齢者の同居する人以外と会話する人数(1日の平均)

出典：「令和3年版厚生労働白書」(厚生労働省)(<https://www.mhlw.go.jp/content/001011736.pdf>)よりデータを得て作成

(注)：第1回の調査(内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」2020年6月21日)は2020年5月25日～6月5日に行われ、第2回の調査(内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」2020年12月24日)は2020年12月11日～17日に行われた。